

川崎市視覚障害者情報文化センターの指定管理予定者の選定結果について

1 概要

(1) 施設概要

名称：川崎市視覚障害者情報文化センター

所在地：川崎市川崎区堤根34番地15

施設内容：

- ア 点字刊行物、録音物等（以下「点字刊行物等」という。）の製作、収集、閲覧及び貸出しに関すること。
- イ 点字刊行物等の普及の促進に関すること。
- ウ 視覚障害者に対する相談、生活訓練その他の支援に関すること。
- エ 視覚障害者の文化、学習及びレクリエーションの活動の支援に関すること。
- オ 視覚障害者の福祉の増進を図る活動を行う者の指導及び育成に関すること。
- カ 施設及び設備を利用に供すること。

(2) 指定期間

令和6年4月1日～令和11年3月31日

(3) 指定管理予定者の概要

名称：社会福祉法人 日本点字図書館

所在地：東京都新宿区高田馬場1-23-4

主な業務内容：

- ア 第2種社会福祉事業
 - (ア) 視聴覚障害者情報提供施設の経営
 - (イ) 全国の視聴覚障害者情報提供施設に関する連絡事業の経営
 - (ウ) 障害福祉サービス事業の経営
 - (エ) 特定相談支援事業の経営

2 選定の経緯

- 令和5年 8月17日 募集開始
- 令和5年 9月29日 募集締め切り
- 令和5年 10月18日 民間活用事業者選定評価委員会
- 令和5年 11月上旬 指定管理予定者を決定

3 応募状況

応募団体：1団体（社会福祉法人日本点字図書館）

4 民間活用事業者選定評価委員会委員

【学識経験者】 村井 祐一（田園調布学園大学人間福祉学部学部長）

- 【学識経験者】 隆島 研吾 (神奈川県立保健福祉大学名誉教授)
- 【学識経験者】 行實 志都子 (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部教授)
- 【学識経験者】 渡部 匡隆 (横浜国立大学大学院教育学研究科教授)
- 【財務の専門家】 内野 恵美 (公認会計士)

5 選定理由

次期指定管理業務に関して仕様書に沿った提案がなされており、事業や収支の計画も妥当と言える。また、これまでの運営状況も良好であり、今までどおり安定した施設運営が見込まれること等を評価し、当該団体を選定した。

(1) 施設の設置目的の達成とサービスの向上

施設利用者の特性や希望を理解し、また今までの運営実績を生かしたかたちで、施設の管理運営に係る適切な基本方針や事業計画、健康管理等についての提案がなされている点などを評価した。

(2) 施設機能の発揮と管理経費の縮減

事業計画と整合がとれた収支計画となっている。また、効率的な施設運営をするにあたり、適切な経費縮減案が提案されていた。

(3) 事業の安定性及び継続性の確保への取組

提案された職員体制及び業務改善に向けた取組が適切であった。

(4) 応募団体自身に関する項目

当該施設に加えて類似事業の運営実績が豊富であり、運営実績を踏まえた提案がなされている点などを評価した。

(5) 応募団体の取組に関する事項

情報公開の取組、個人情報保護、コンプライアンス遵守のための取組等が適切であった。

(6) その他の事項

眼科医療従事者、関係機関への研修等による眼科医療と福祉の連携ネットワークの構築といった、地域における公益的活動に関する提案内容が適切であった。

6 審査結果 (※基準点630点以上)

| 選定基準 | | 配点 | 社会福祉法人 日本点字図書館 |
|----------------|----------------------|--------|-------------------|
| 基準 評価 項目 | ①施設の設置目的の達成及びサービスの向上 | 350点 | 247点 |
| | ②施設機能の発揮と管理経費の縮減 | 250点 | 151点 |
| | ③事業の安定性及び継続性の確保への取組 | 200点 | 133点 |
| | ④応募団体自身に関する事項 | 100点 | 72点 |
| | ⑤応募団体の取組に関する事項 | 100点 | 67点 |
| 基準評価 合計 | | 1,000点 | 670点 |

| | | | | |
|--------|------------------|--------------------------|--------|------|
| 項 目 | 加 算 評 価 | その他の事項 (地域における公益的な活動) | 50点 | 36点 |
| | | 実績評価点 (標準を0点として、加減点) | | 84点 |
| | | 総合計 | 1,050点 | 790点 |

7 指定管理予定者として選定された団体の主な提案内容

| 項 目 | 事業内容 |
|---------------------------|--|
| 障害者支援に対する考え方、方向性、取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚に障害を持つ川崎市民の自立と社会参加活動を支援する。 ・ 点字図書館事業、訓練滋養、用具斡旋事業を併せ持つ強みを活かしたサービスを行い、視覚障害市民の生活の質の向上に寄与する。 ・ 見えない、見えにくくなって困っている人たちが、早期にセンターに繋がるように地域資源、眼科病院との連携を深める。 ・ 市内のどこに住んでいてもセンターのサービスを受けられるよう、当事者に歩み寄ったサービスを展開する。 ・ 読書会、音楽鑑賞、映画鑑賞、演芸鑑賞、エクササイズなど幅広く文化活動を展開するとともに、利用者交流の場を提供する。 ・ 市民に向けて、視覚障害理解のための普及啓発活動を行う。 ・ ボランティア団体、視覚障害関係団体、地域の障害者団体等と連携・協力を進める。 |
| 施設運営計画 (提供するサービスの考え方、日課等) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 点字図書館事業 視覚障害者用の図書 (点字図書、音声図書) の製作と貸出及び製作ボランティアの養成を行う。プライベートサービスを行うなど、利用者に応じた貸出サービスを提供する。 ・ 相談支援・機能訓練事業 市民として心豊かな毎日を過ごせるよう、日常生活のQOLを高める様々な情報の提供、相談支援、機能訓練等を、電話・オンライン等も活用しながら地理的に離れている北部地域の利用者にも等しく質の高いサービスを提供する。 ・ 視覚障害者用具の斡旋事業 施設内に視覚障害者用の生活用具コーナーを常設展示し、主だった用具類を取りそろえるとともに、最新機器の斡旋等を行う。 ・ 各種イベント開催による文化発信事業 読書会、音声解説付きDVD映画上映会、コンサート、エクササイズなど、幅広く文化情報を提供するとともに、視覚障害者同士の相互交流の場を提供する。 ・ 普及啓発事業 市民の視覚障害理解の普及啓発のために、各方面に対して講演、研修等を実施する。 |

| | |
|------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体、障害者関係団体等との連携及び協力 市内のボランティア団体と連携し、よりよいサービスを目指すとともに、活動を支援する。また、障害者関係団体等と積極的に連携し、協力していく。 ・センター事業の広報 眼科医療従事者、関係機関との情報交換会や各種研修を通して、当該センターを知らない視覚障害者が早期にセンターにつながるよう努める。 |
| 他機関等との連携についての考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・市社会福祉協議会や、視覚障害者関係団体と連携を取りながら、利用者に有益な情報の入手及び協力を行う。 ・市内公共図書館とも連携し、より多くの方へ点訳・音訳図書を届けられるように努める。 |
| 上乗せ提案 | <ul style="list-style-type: none"> ・DVD映画の音声ガイド製作及びボランティアの養成を行う。 ・視覚障害者の文化、学習及びレクリエーションの活動の支援として、各種イベントを行う。 |

8 提案額

年 額 105,288,000円 (1年間)

指定期間計 526,432,000円 (5年間)

川崎市健康福祉局障害保健福祉部
 障害者社会参加・就労支援課 社会参加担当
 Tel 044-200-2676 Fax 044-200-3932